

ワールドカフェ シリーズ② 日本橋／京橋／新川

シリーズ② 2013年 5／17(金) 6／16(日) 7／12(金) 3回開催

日本橋／京橋／新川エリア ワールドカフェの総括

2013年7月12日

TOKYO URBAN LIFE コミッティ
(ワールドカフェ運営)

<コンテンツ> 日本橋／京橋／新川エリア

①5月17日(金)15:00～18:50

ファシリテータ 武居 正武氏(建築家) ※パリでの演劇公演のため欠席
地域再生コミュニティプロジェクト(リーダ) <http://www.dam-dan.co.jp/>

今回は再開発が目下槌音高く進行中の日本橋・京橋・エリアについて、
江戸地図を下敷きに、時代の変遷を含ませて現代の開発状況と比較にウエイトを置き、江戸VS現代について、地理・土地の変容についてじっくりと行った。

GIS(ジオグラフィック・インフォメーション・システム)を活用して江戸時代から現代まで 地図情報を内田洋行4面スクリーンで
協力:株JPS <http://www.jps-net.com/>

17:40～18:00 江戸のエンターテイメント
落語 三遊亭らん丈師匠 <http://www.ranjo.jp/>

18:10～18:50 1Fの交流サロンにて
江戸時代のファストフードを囲んでの名刺交換会

②6月16日(日)15:00～18:50

●江戸のエンターテイメント

世界が注目する浮世絵の魅力について
お江戸へタイムスリップ!

「浮世絵を味わい、現代(これから)を想う!」

講師:牧野健太郎氏 浮世絵の伝道師
日本ユネスコ協会連盟評議員・NHKプロモーション上席執行役員
ボストン美術館・浮世絵デジタル化プロジェクト日本側責任者

15:40～18:00

●このエリアの実態について

ファシリテータ:長谷川 順持氏

建築家 | 東京都市大学建築学科 講師
社)日本建築家協会 中央地域会副代表
社)建築家住宅の会 理事 長谷川建築デザインオフィス(株)代表
<http://www/interactive-concept.co.jp>

●開発が目下槌音高く進行中の日本橋・京橋・エリアにおいて

江戸時代からの変遷を踏まえて、河岸を現在に再現し、京橋の歴史をより多くの人に知ってもらい、河岸の賑わいを取り戻したい。

報告者:鹿内京子氏(慶大・上席研究員)に代わって木下茂氏が講演
NPO法人京橋川再生の会 理事長

18:10～18:50 1Fの交流サロンにて

江戸時代のファストフードを囲んでの名刺交換会

③7月12日(金)15:00～18:50

15:00～17:30

●フェイズⅡの総括

働く人、住む人、訪れる人にとっての魅力と快適さとは

・地理と環境を踏まえた建築とは

長谷川 順持氏 <http://www/interactive-concept.co.jp>

長谷川建築デザインオフィス(株)代表

社)日本建築家協会 中央地域会副代表

社)建築家住宅の会 理事

●再開発で巨大ビル建設が進行中の日本橋界隈の変貌と展望

江戸時代/現在/そして未来

・グリーンシティ(屋上緑化、ヒートアイランドに関する方策)

・EDOTokyoとしての環境とグリーン革命

ファシリテーター: イエンス・マーティン S・H氏 デンマーク建築家

<http://www.hokuou-architecture.com>

GIS(地理情報システム)をベースにすると明確にこのエリアの実態が見える。

(株)JPS 平下治氏 (社)地理情報システム学会賛助会員

早稲田大学招聘研究員

・日本橋／京橋／新川エリアワールドカフェ3回の総括

高山れい子 ワールドカフェ運営統括

www.wanowa.com

17:35～18:15

●江戸のエンターテイメント

江戸長唄 杵屋五司郎氏(KINEYA GOSHIRO) 東京芸術大講師

<http://gosirou.syami.com/gosirou/>

18:15～18:50 1Fの交流サロンにて

江戸時代のファストフードを囲んでの名刺交換会

※3回にわたって快適な会場を提供した、内田洋行にリクエストした映像情報

(大型スクリーンによる)

・歴史上深いかかわりのあった中国の文化(過去)

・JAXAによる宇宙へのいざない(未来)

イ
エ
ス
タ
デ
イ
ジ
ヤ
ス
ト

■ 日本が活気づいていた高度成長期まで、人々は貪欲にモノを求めていました。当時は生活レベルの向上に欠かせない欲しい商品が数多くあったからです。

(家電製品～自動車～住宅 そしてスーパーブランド品)

このモノ充足の時代はその象徴であった、あこがれの銀座にあやかって全国に〇×△銀座通りや商店街が1,000カ所以上出現しました。

江
戸
時
代
の
ヒ
ン
ト

■モノが一通り揃ってしまった成熟社会の現在、
今までとは全く異なった発想の転換に迫られています。

江戸時代の日本橋は5大街道の起点でした。物資、経済、文化、人の流れの起点であり、日本のにぎわいの原点だったのです。

史実を踏まえれば、これからは日本が世界に誇る産業、文化という独自の情報発信の大動脈の起点になることです。情報の発信源は人であることを踏まえれば、このエリアに蓄積されている江戸時代の知恵(循環型社会・エコ社会)と文化の歴史を活かし、未来都市としての役割がおのずと見えてくる。

未
来
都
市
発
想

■未来都市構想の推進は、かつての中心だった 日本橋／京橋エリア
こそが最もふさわしいのです。

国も地方自治体(ここでは中央区)もまさか伝統と経済を誇るこのエリアが、そのような使命を負っているとは長年のフォロー体制からは、考えも及ばないのは無理からぬことです。

三井不動産(本社・日本橋) 菰田正信社長は自社が注力している千葉の“くずはの森”に於いての未来都市論を語っています。(日経ビジネス2013年6月24日号) 日本橋とくずはの森の未来都市構想にふれて、くずはの森にてすでに組みつつあるとの論を展開

江戸時代 日本橋は5街道の起点 未来は情報の主要起点に！

使い捨て文化から — 使い廻し文化へ <エコ重視に発想を転換>

お江戸日本橋・京橋エリアは今も昔も日本の歴史・文化・技の情報交流の総本山

未来を現在につなぐ — <フューチャーゾーン>

■世界の最先端情報網

東京スカイツリー

東京タワー

上野国立科学博物館

・本格的な観光時代の幕開けにそなえ、ホテルetc.とコラボし、情報発信基地になる

さらには

■宇宙時代への案内 JAXA
はやぶさの帰還で一躍、日本の技術が世界の注目を集めました。

・元宇宙飛行士 毛利氏が館長を務める日本科学未来館 etc.

・ハイスピードですすむテクノロジーをビジュアルに見せるイノベーションをわかりやすく紹介する場や機能の充実



人々にとって訪れたい！知りたいたい！最新科学情報を現地とのネットワークで発信 (TOKYO URBAN LIFEがネットワーク化)

江戸時代で最も注目すべき点は、100万人都市でありながら、環境型社会であり持続可能社会であったことである。エネルギーもモノも全くムダがなく、その上浮世絵に見られるように町人はこころ豊かな生活文化をエンジョイしていた。



かつて日本橋/京橋エリアは物見遊山でにぎわい、日常は知恵・知識・好奇心・美意識にあふれており、日本橋が五街道の起点であった。

現代そして未来に向かってのこのエリアの使命は江戸に学びながら現代のデジタル情報の発信とインフォメーション機能をあわせ持つ情報発信の主要街道になることで、内外の注目を浴びこのエリアに行けばEDO Tokyoとして、江戸時代の生活文化にふれることができ、又、世界に誇る最先端のテクノロジーについて情報が得られることである。今後増加を見込んでいる海外からの観光客にも便利な仕組みと体制をいち早く整える必要がある。

江戸(過去)を現代につなぐ — <EDO TOKYO ゾーン>

<江戸時代の・おもてなしごころ充滿ゾーン>

・着物姿が似合うまち — イベントに加えて日常の場づくりに注力

多様なおけいこができるエリアに！
老舗百貨店は、さながら
EDOTOKYOのデイズニールランド
奥に30~50名収容の有料多目的ホールの貸しスペース設置

Ⓐ — 個人が伝授している長唄や踊り etc.
Ⓑ — 三越・高島屋のカルチャアセンター / 文化催事 / 各売り場の再生

・EDO文化を味わえる場

屋台 … まちのにぎわい
マルシェ・朝市・のみの市 etc.
(ユニット屋台の多様な活用を検討)

・落語etc.が楽しめる多目的ホールの設置

表はこだわりのカフェで
奥に30~50名収容の有料多目的ホールの貸しスペース設置

・EDO落研 (研修~コンテスト発表)の集約場づくり

(監修 三遊亭らん丈(案))

各大学の落研が主宰する落研の練習や発表の場
落語がさかんになり注目されている現在、各大学に呼びか

けて

このエリアに集約

・EDO歴史・文化に関する大学の設置

複数の大学の競合による学科内容

江戸時代に関して文化・政治・経済・歴史などについて定

評のある

大学によびかけてエクステーションセンター等を設置し、教養を高めたい大の生涯教育に資する

今後の活動の構想(リアル&デジタル)案

<リアルな活動>

- ・江戸の文化・産業の遺産を色濃く持っているエリアとして、その知恵と歴史を活かし、伝承する場を着実に増していく
- ・百貨店・巨大ビルの広場や屋上の有効な活性化を広くアイデアを募り、実現させていく活動

EDO TOKYOの複合活動のアピール



<デジタル活用活動>

ネット上のHPの広報活動

- ・www.wanowa.com
- ・www.tokyo-urbanlife.com
- ・3回開催の動画アーカイブ

ライフスタイルペディア

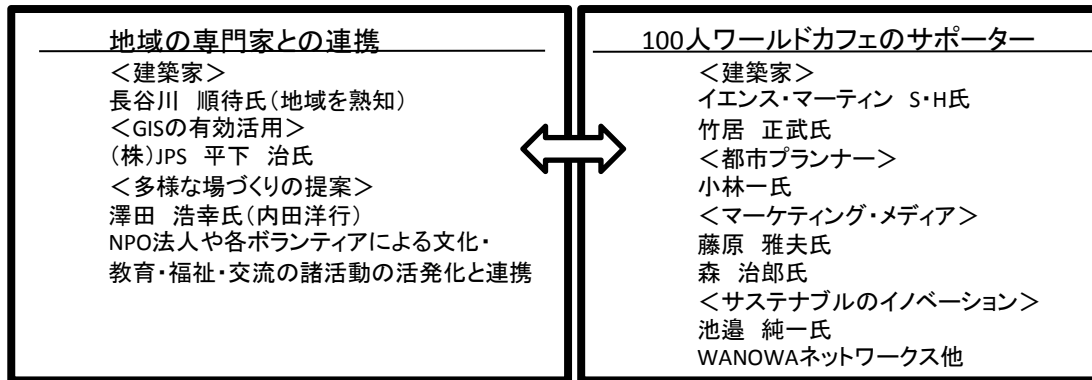
EDOTOKYOと江戸時代編を構想中

世界に向けて情報発信

- ・日本橋のメトロ間の地下のコンコースに
<フューチャーゾーン>の案内カウンターを設置

- ・巨大ビルの広場を活かした地域再生の催事

- ・休日を中心に巨大ビルの1Fと屋上を一般に開放。グリーン化や集いや楽しいイベントをくりひろげる。



- ・各スペシャリストがネットワーク化をはかり、従来の区分や縦割発想に対し、産業優先にとどまらず、しなやかに人こそすべての根源だというポリシーのもとに広く、日本の独自性や成熟社会のモデルとしての情報発信の起点をめざす。

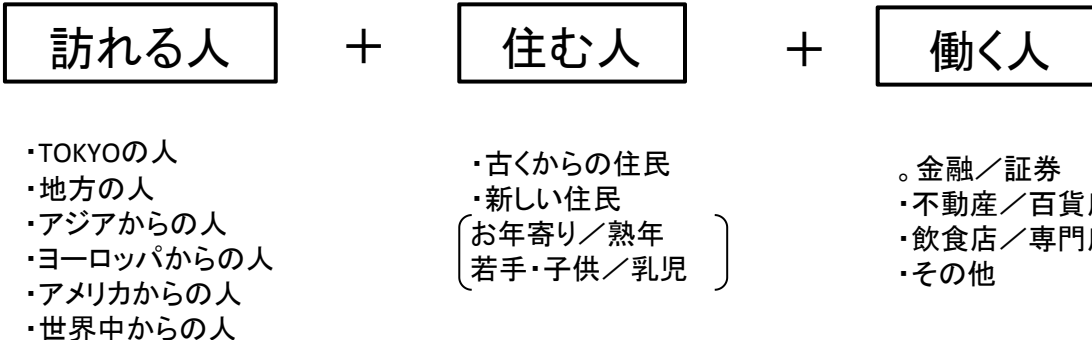
3カ月間のワールドカフェ(ワークショップ)の提唱をふまえ、地域内のネットワーク化とワールドカフェの各サポーターの協同による継続型のムーブメントを起こしていく。

日本の観光産業と政策について

- ・日本における海外旅行産業(個人、団体)は1兆2千万ドル
これは自動車産業の1兆4千万円に次ぐものである。
 - ・しかし世界の観光産業としては840万人が海外からやってくる日本に対し、フランスは8,300万人/年を受け入れている。
 - ・海外からの受入額
H24年度 840万人弱 → (H25年は富士山世界遺産効果で1,000万人を見込む。)
 - ・国はH42年には3,000万人を目指している。(最近の観光政策方針)
- 単純にこの数字に基づいて受入人数を算出すると
毎年130万人ずつ増えることになるが受入体制は十分とは言えない。

世界ランキング 33位
アジアですら 8位

日本橋／京橋／新川～
エリアの独自性 —
それは未来都市構想の
EDOTOKYO文化圏
としての機能



住	食	衣
知	暮 <small>しりし</small>	遊
交	健	美

Special Thanks

<江戸のエンターテイメント>

牧野 健太郎氏(浮世絵)
三遊亭らん丈氏(落語)
杵屋五司郎氏(江戸長唄)

<ファシリテータ>

長谷川順待氏(建築家・中央区)
イェンス・マーティン S・H氏(建築家・デンマーク)

<中央区の地域活性化モデル>

NPO法人 京橋川再生の会

<ワールドカフェ運営>にあったすべてのサポーター

GISの協力
(株)JPS

会場協力

(株)内田洋行

日本酒・日本橋

日本酒・人形町

これからの主流 — 知的資本主義(人財・創造力・ネットワーク力)

A 未来の知的資本を生み出す活動

<知的資本の定量化>

- ・未来のポテンシャルを可視化して、株主等に訴求し、長期的視点を重視
- ・知的資本／資源は人材の資質や知識、技能、将来へむけてのポテンシャルやイノベーション指向が高い
- ・人的資本／構造的資本／関係性資本

B 今までの資本集約型活動(資本社会)

<現在は過去の資本投下によって生み出されたもの>

- ・ヒト
 - ・モノ
 - ・カネ
 - ・情報
- とりわけ資本と投資の拡大が基盤になっている経済優先社会

A 未来の知的資本を生み出す活動の中核機能＝フューチャーセンター

- フューチャーセンター(FC)の代表的な活動としては数年から数10年後の社会を具体的に描き出す未来シナリオづくりが重要である。

<フューチャーセンター(FC)の主要組織と機能>

- ① 環境の整った快適な場で創造的な対話ができること(対話のための専用空間)
- ② FCディレクターが責任者として置かれることによって未来シナリオがより具体的に進展。
- ③ ・人的資本・・・人の成長
 - ・構造的資本・・・ビジネスモデルなどのアイデア創出
 - ・関係性資本・・・新しい人と人のつながり

未来の知的資本を生み出すフューチャーセンター(FC)は人が成長し、アイデアが創出され、人のつながりが生まれる場として機能。

TOKYO URBAN LIFE (1回～10回)

- ・個々人のライフスタイルの充実や独自性のアピール
- ↓
- ・IT活用により世界へ向けて日本の文化・歴史の独自性をアピール

(コミュニケーション/コミュニティづくり)

(フォーラム/ワークショップ/セミナー/
展示・ショーケース
/ワールドカフェ etc.)

中央集約型(行政・経済政策)から人が中心になった

地域の独自性(歴史・文化)を
尊重した活性化提案と支援

TOKYOがフロントになり各地とネットワーク化し各々の独自性の掘り起しを活性化